

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 社会科学 A		授業の方法 講義・演習	担当教員 石田俊一
授業の回数 15	時間数 30	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 政治の基本知識を学習し、変化する社会問題を考え、視野を広げることを狙いとする。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 政治の定義を理解した上で国政への関心を高め、日本国憲法を中心として人権規定及び統治機構について考えを深める。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容〕</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治の基本概念 (政治・政治権力・近代国家・社会契約説・行政国家の諸問題) 2. 政治制度論 (権力分立論・議院内閣制・大統領制) 3. 政治過程論 (政党・選挙制度・総まとめ) 4. 日本国憲法の特徴 (大日本帝国憲法と日本国憲法・日本国憲法の三大原則・憲法改正手続) 5. 基本的人権総論 (人権保障の歴史・人権の分類・人権の享有主体・私人間効力・公共の福祉) 6. 包括的基本権 (幸福追求権・新しい人権・平等権) 7. 精神的自由権 (思想良心の自由・信教の自由・表現の自由・学問の自由) 8. 経済的自由権 (職業選択の自由・居住移転の自由)・人身の自由 9. 社会権・能動的権利と受益権・人権規定の総まとめ 10. 統治機構 (三権分立制)・国会 (国会の地位・国会の権能・議院の権能) 11. 国会 (衆議院の優越・国会の種類・審議と表決) 12. 内閣 (行政権の帰属・議院内閣制・内閣の構成・内閣総理大臣の権能・内閣の権能・内閣総辞職) 13. 裁判所 (司法権の帰属・司法権の独立・裁判所の機構と裁判のしくみ) 14. 裁判所 (違憲法令審査権)・統治機構の総まとめ 15. 地方自治・法学 			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕</p> <p>大原出版『TEXT 政治』『実戦問題集 政治』 『スタンダード問題集 社会科学』『答案練習』</p>		<p>〔成績判定基準〕</p> <p>期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 社会科学 B		授業の種類 講義・演習	担当教員 望月 覚
授業の回数 15	時間数 30	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 社会科学体系における経済を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 金融政策や財政政策について正確な知識を習得し、日本経済や国際経済の動きを理解することができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済社会の変容と経済体制 2. 現代の企業 3. 現代の市場 4. 国民所得 5. 経済成長と景気循環 6. 通貨制度と金融政策 7. 財政制度と財政政策 8. 貿易と外国為替 9. 日本経済の動向 10. 国際経済の動向 11～15. 経済総合演習 			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『TEXT 経済』『実戦問題集 経済』『スタンダード問題集 社会科学』『答案練習』</p>		<p>〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 社会科学 C		授業の種類 講義・演習	担当教員 牧野 美耶
授業の回数 8	時間数 15	配当学年・時期 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 社会科学体系における社会を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式を中心に行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説する。 また、タブレット端末を用いて最新の情報をまとめ、プレゼンテーションを行う事で知識の効果的な定着をめざしていく。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 社会学や心理学、現代社会における様々な問題について広く学ぶことで、現代に生きる私たちと社会が抱える課題を理解する。また、それらの課題を踏まえ今後の社会のあるべき姿を考え自らの意見を持つ。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会理論 2. 労働問題 3. 社会保障 4. 環境問題 (日本の環境問題) 5. 環境問題 (地球環境問題) 6. 国際関係 7. 現代の諸相 8. プレゼンテーション、総まとめ 			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『TEXT 社会』『実戦問題集 社会』 『スタンダード問題集 社会科学』『答案練習』 『公務員試験頻出時事』		〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 人文科学 A		授業の方法 講義・演習	担当教員 石田俊一
授業の回数 15	時間数 30	配当学年・時期 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 人文科学における世界史を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身につけることを目的とする。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 世界の歴史の枠組みと流れを理解することで、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察できるようになる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古代文明、中国史 (殷・周) 2. 中国史 (秦・漢・魏・晋・南北朝) 3. 中国史 (隋・唐) 4. 中国史 (宋、モンゴル帝国・元) 5. 中国史 (明、清) 6. 中国史 (清の崩壊) 7. 古代地中海世界 (古代ギリシア・古代ローマ・キリスト教の成立と発展) 8. 中世ヨーロッパ (フランク王国の発展・十字軍と封建社会の崩壊) 9. 近代ヨーロッパ (ルネサンス・大航海時代・宗教改革) 10. 16-18 世紀のヨーロッパ (西欧諸国の絶対主義・イギリスの市民革命) 11. 市民社会の成長 (アメリカ独立革命・フランス革命とナポレオン・産業革命・ウィーン体制) 12. 第一次世界大戦 (帝国主義と列強諸国・第一次世界大戦・ヴェルサイユ体制) 13. 世界恐慌・ファシズムの台頭 14. 第二次世界大戦 15. 冷戦体制 			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『TEXT 世界史』『実戦問題集 世界史』 『スタンダード問題集 人文科学』『答案練習』</p>		<p>〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 人文科学 B		授業の種類 講義・演習	担当教員 辻航平
授業の回数 15	時間数 30	配当学年・時期 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕</p> <p>日本史全般の理解をすることを目的とする。 人物・出来事を正確に理解するとともに時系列を把握し、各時代の出来事について類似点、相違点を把握する。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕</p> <p>日本史上の人物・出来事につき、テキストを通して理解し、把握していく。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。 タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。</p> <p>〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>日本史上の人物・出来事を正確に理解する。 日本史上の人物・出来事を時系列で把握する。 各時代の人物・出来事につき、類似点と相違点を正しく把握する。 各時代についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕</p> <p>事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旧石器文化・縄文文化・弥生文化、大和政権と古墳文化 2. 聖徳太子の政治と飛鳥文化、大化の改新と白鳳文化 3. 律令体制の完成と天平文化、平安時代と国風文化 4. 鎌倉幕府の成立と政務期間、執権政治と元寇、鎌倉文化、鎌倉新仏教 5. 建武の新政と南北朝の動乱、室町幕府と日明貿易、応仁の乱と幕府の衰退 6. 戦国時代と室町文化 7. ヨーロッパのアジア進出、織豊政権、桃山文化 8. 江戸幕府と幕藩体制、鎖国体制 9. 文治政治と元禄文化、三大革命、化政文化 10. 幕末、明治維新と文明開化、明治初期の外交 11. 立憲体制の成立、条約改正 12. 日清戦争、日露戦争、近代文化の発展 13. 第一次世界大戦と戦後の外交、第二次世界大戦と日本 14. GHQ の統治時代、1950～70 年代の日本、1980 年代以降の日本 15. 総まとめ 			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕</p> <p>大原出版『日本史』『人文科学スタンダード問題集』 『日本史実戦問題集』『答案練習』</p>		<p>〔成績判定基準〕</p> <p>期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 人文科学 C		授業の方法 講義・演習	担当教員 牧野美耶
授業の回数 8	時間数 15	配当学年・時期 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 世界を地理から考え、幅広い教養を養い、社会問題を分析する視点を整える。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。 また、タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 地形・気候などの自然条件と、そこに展開されている人間生活との関係を理解し、現代世界を正しく認識できるようになる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容〕</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境と地図、地形 2. 世界の気候・植生・土壌 3. 資源と産業 4. エネルギー資源と原料資源 5. 工業化と工業地域 6. 世界の国々 (アジア、アフリカ) 7. 世界の国々 (ヨーロッパ、南北アメリカ・オセアニア) 8. 生活と地域、日本の人口・産業、総まとめ 			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『TEXT 地理』『実戦問題集 地理』 『スタンダード問題集 人文科学』『答案練習』		〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 文章理解・国語		授業の種類 講義・実習	担当教員 牧野美耶
授業の回数 8	時間数 15	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 語彙や文法の知識を身につけることにより、筆者の主旨や意図を理解する読解力と、公務員試験で出題される文章問題の客観的な読解力を養う。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 客観的な文章読解力を獲得し、筆者の主旨を読み取った上で、自身の考えを論理的に述べることができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数 8</p> <p>1：主旨・要旨把握問題 2：内容合致問題 3：文章整序問題 4：語句補充問題 5：文補充問題 6：重要な英単語 7：英文の読解 8：総合演習</p>			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『テキスト 文章理解』『実戦問題集 文章理解』『スタンダード問題集 文章理解』『答案練習』		〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 自然科学 A		授業の種類 講義・演習	担当教員 望月 覚
授業の回数 15	時間数 30	配当学年・時期 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 自然科学体系における物理と化学を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身に着ける事を目的とする。無生物界を支配する法則や物質の構造・性質・反応について理解する。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 科学と化学の違いを把握した上で知識を習得し、物質に対して理解している。また、運動法則や熱力学、波動についての法則を数式で表現し、推論する事が出来る。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1～2. 物質の構造 (物質の分類、元素の周期律、物質の量、化学結合) 3～4. 物質の状態 (物質の三態、固体の構造、気体の性質、溶液の性質) 5～6. 物質の変化 (化学変化とエネルギー、酸と塩基の反応、酸化と還元、金属のイオン化傾向) 7～8. 運動の表現 (重力下での運動、相対速度) 9. 力 (力のつりあい、摩擦力、浮力、ばねの弾性力、滑車、力のモーメント) 10. 運動方程式 (運動の3法則) 11. エネルギー (仕事、力学的エネルギー、エネルギーの形態と変換) 12. 運動量 (運動量と運動量保存の法則、はねかえり係数) 13. 熱 (熱量と比熱、熱力学の法則) 14. 波動 (波の性質、音、ドップラー効果、光、レンズ) 15. 電気 (電流と電圧、電力と磁界) 			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『TEXT 物理』『実戦問題集 物理』 『TEXT 化学』『実戦問題集 化学』 『スタンダード問題集 自然科学』『答案練習』</p>		<p>〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 自然科学 B		授業の種類 講義・演習	担当教員 大石健二
授業の回数 15	時間数 30	配当学年・時期 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 自然科学体系における生物と地学を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身に着ける事を目的とする。生物界を支配する物質の構造・性質・反応について理解する。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。 また、実社会において生物学がどのように関わりを持つかを時事問題を絡めて解説する。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 生物の構造や遺伝、内部環境について正確な知識を習得し、各分野における内容の正誤を判断することができる。また、地球の構造や環境、歴史について正確な知識を習得し、太陽系における地球の相対的な位置づけを正しく把握している。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞、染色体と細胞分裂、生物の組織と器官 2. 酵素、呼吸、同化作用、消化作用 3. 生殖と発生 4. 遺伝と変異 5. 刺激の受容と反応 6. 内部環境の恒常性と調節 7. 生物の集団 8. 生物の進化と系統 9. 地球の姿と動く台地 10. 岩石 11. 大気と海洋 12. 太陽系と宇宙の構造 13. 地球と人類 14. 地層、地学総まとめ 15. 総まとめ 			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『TEXT 生物』『実戦問題集 生物』 『スタンダード問題集 自然科学』『答案練習』 『TEXT 地学』『実戦問題集 地学』		〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 数的処理 A		授業の方法 講義・演習	担当教員 辻航平
授業の回数 30	時間数 60	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 与えられた条件から柔軟な思考力と迅速な判断能力を身につけ、公務員採用試験等で出題される問題を正確に解けるようにする。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。問題の解説を各人で要点まとめを行う。さらに項目のポイントを教員が再度解説し、内容の確認をする。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 出された条件を分析し、効率よく整理できるようになることで論理的思考力を養い、また、整理した情報を活用して解答を導くことができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。特に問題の解き直しを行うこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <p>1～3：論理 4～6：集合の要素 7～12：順序 13～17：位置・方位 18～21：対応 22～24：勝敗 25～26：うそつき 27～28：暗号 29～30：推理・手順</p>			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『数的処理・判断推理編テキスト』 『数的処理・判断推理編問題集』 『数的処理・判断推理編解答解説』『答案練習』</p>		<p>〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 数的処理 B		授業の方法 講義・演習	担当教員 望月 覚																
授業の回数 30	時間数 60	開講年次 1年	必修・選択 必修																
<p>〔授業の目的〕 数的処理における数的推理と資料解釈の基礎的な解き方を学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>〔授業全体の授業の進め方〕 授業ではポイントの説明を行い、問題の解き方を学ぶ。その後、類似問題を解くことで知識を身につけていく。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 文章題から出題者の意図を理解し要点を抑えた上で立式し、解答を導き出すことができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 事前に予習すべきテキスト部分を必ず読んでおくこと。また、講義終了後は、理解が不十分であった部分について必ず復習しておくこと。特に問題の解き直しを行うこと。</p>																			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>コマ数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1～2. 方程式・不等式</td> <td style="width: 50%;">15～16. 回転と軌跡</td> </tr> <tr> <td>3～4. 整数・計算パズル</td> <td>17～18. 道順・一筆書き・位相</td> </tr> <tr> <td>5～6. 割合と比</td> <td>19～20. 平面構成</td> </tr> <tr> <td>7～8. 速さ</td> <td>21～22. 正多面体・展開図</td> </tr> <tr> <td>9～10. その他の文章問題</td> <td>23～24. 立体構成</td> </tr> <tr> <td>11～12. 場合の数</td> <td>25～26. 平面図形の計量</td> </tr> <tr> <td>13～14. その他の文章問題</td> <td>27～28. 立体図形の計量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>29～30. 資料解釈</td> </tr> </table>				1～2. 方程式・不等式	15～16. 回転と軌跡	3～4. 整数・計算パズル	17～18. 道順・一筆書き・位相	5～6. 割合と比	19～20. 平面構成	7～8. 速さ	21～22. 正多面体・展開図	9～10. その他の文章問題	23～24. 立体構成	11～12. 場合の数	25～26. 平面図形の計量	13～14. その他の文章問題	27～28. 立体図形の計量		29～30. 資料解釈
1～2. 方程式・不等式	15～16. 回転と軌跡																		
3～4. 整数・計算パズル	17～18. 道順・一筆書き・位相																		
5～6. 割合と比	19～20. 平面構成																		
7～8. 速さ	21～22. 正多面体・展開図																		
9～10. その他の文章問題	23～24. 立体構成																		
11～12. 場合の数	25～26. 平面図形の計量																		
13～14. その他の文章問題	27～28. 立体図形の計量																		
	29～30. 資料解釈																		
<p>〔使用テキスト・参考文献〕</p> <p>大原出版『テキスト 数的推理 問題編』 『テキスト 数的推理 解答編』 『テキスト 図形・資料解釈 問題編』 『テキスト 図形・資料解釈 問題編』 『答案練習』</p>		<p>〔成績判定基準〕</p> <p>期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>																	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 教養総合講義 A		授業の種類 講義・演習	担当教員 石田俊一、望月覚、 加藤喜代子、牧野美耶 他
授業の回数 23	時間数 45	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知識・一般知能の習得を目的とする。 知識科目及び知能科目について、習熟度を把握する。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 模擬試験問題の解説講義。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知識・一般知能の習得をする。 知識科目及び知能科目について、習熟度を把握する。</p> <p>〔履修にあたっての留意点〕 欠席、忘れ物をしないこと。欠席時は次回授業までにフォローするとともに、担当教員を訪ね、指示内容を確認すること。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <p>1～23：公務員採用試験答案練習 直前模擬試験公務員総合 公務員模擬試験初級 公開模擬試験一般職 実力判定試験一般職 直前模擬試験一般職 実践力判定秋受験 応用力判定秋受験 他 (模擬試験は使用例を示す)</p>			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『公務員答案練習』		〔成績判定基準〕 期末試験・検定試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 教養総合演習 A		授業の種類 講義・演習	担当教員 石田俊一、望月覚、 加藤喜代子、牧野美耶 他
授業の回数 45	時間数 90	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知識・一般知能の習得を目的とする。 知識科目及び知能科目について、習熟度を把握する。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 模擬試験問題を解く。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知識・一般知能の習得をする。 知識科目及び知能科目について、習熟度を把握する。</p> <p>〔履修にあたっての留意点〕 欠席、忘れ物をしないこと。欠席時は次回授業までにフォローするとともに、担当教員を訪ね、指示内容を確認すること。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <p>1～45：公務員採用試験答案練習 直前模擬試験公務員総合 公務員模擬試験初級 公開模擬試験一般職 実力判定試験一般職 直前模擬試験一般職 実践力判定秋受験 応用力判定秋受験 他 (模擬試験は使用例を示す)</p>			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『公務員答案練習』		〔成績判定基準〕 期末試験・公開模擬試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 論作文		授業の種類 講義・演習	担当教員 加藤喜代子、牧野美耶 他
授業の回数 15	時間数 30	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 択一試験ではわからない社会人としての資質を確認するとともに、与えられた時間内に与えられたテーマ（課題）を、自分の考えを文章で論述できる能力を養う。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 基礎的な書き方をレクチャーし、その後、情報収集と過去事例の演習・添削をくり返す。</p> <p>〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 正確で分かりやすい文章を制限時間の中で書くことができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 前回添削されたものの見直しを行う。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ〕 コマ数</p> <p>1：論作文の基礎（表記、構成、情報収集のやり方） 2～15：情報収集と過去事例（過去テーマ）、添削を繰り返し行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の長所と短所 ・最近興味を持ったこと ・求められる公務員像 ・少子化対策について ・公務員に求められる倫理観とは ・私を本気にさせた一言 ・社会人として求められる心の強さとは ・「〇〇から学んだこと」と題して、あなたがこれまで経験した活動をひとつ挙げ、そこから学んだこと ・同世代の若者について思うこと ・社会人になることに向けて ・自分が社会に貢献できること ・友人と私 ・社会人としてチャレンジしたいこと ・日常生活の中で心がけていること ・私が最も感動したこと ・あなたが熱中しているもの ・AI化の進展が社会や個人に及ぼす影響について 			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『テキスト論作文対策』		〔成績判定基準〕 論文評価表に基づき優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 法律		授業の種類 講義	担当教員 望月和弘
授業の回数 15	時間数 30	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 法学の基礎学習として、法の概念を学ぶ。また民法や行政法、自治法の全体像を把握するとともに、基本的人権と統治機構の主要な内容を理解する。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 授業は講義形式で行い、問題演習で確認する。また、判例の事案、最近のニュースを調べ、レポート作成も行う。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 政治の定義を理解した上で国政への関心を高め、日本国憲法を中心として人権の在り方について考えを深める。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 常日頃から、気になるニュースを見つけたら、それが日本国憲法や他の法律とどのような関係があるかを考えておく。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 法源、法の分類、法の解釈 2: 行政行為、行政指導、行政事件訴訟一般、取消訴訟 3: 地方自治の意義、地方公共団体の期間と権能 4: 住民の権利 5: 地方自治の諸問題 6: 制限行為能力者 7: 意思表示 8: 代理 9: 時効 10: 対抗要件 11: 債権の発生・消滅・譲渡 12: 債務不履行、危険負担 13: 連帯債務、保証債務 14: 売買、賃貸借 15: 総まとめ 			
〔使用テキスト・参考文献〕 授業中にプリントを配布 大原出版『TEXT 政治』		〔成績判定基準〕 期末試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) ビジネス実習 A		授業の種類 講義・実習	担当教員 牧野美耶 他
授業の回数 45	時間数 90	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 パソコンの操作技能の習得および検定試験合格</p> <p>〔授業全体の進め方〕 【練習問題】 問題演習・解説を通して基本的なパソコン操作技能を習得させる。</p> <p>【模擬問題】 各人で問題を解き採点基準に従い担当教員が採点を行う。 間違えた問題については個別に解説し対応する。</p> <p>【受験サンプル】 検定試験時に使用するプログラムを用いて学習し、操作方法の最終確認を行う。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 検定試験合格</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 練習問題・模擬問題の反復演習を行うこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <p>1～2. パソコン操作技能習得 3～4. 練習問題 1 5～6. 練習問題 2 7～8. 練習問題 3 9～11. 模擬問題 1 12～14. 模擬問題 2 15～17. 模擬問題 3 18～20. 模擬問題 4 21～23. 模擬問題 5 24～26. 模擬問題 6 27～29. 模擬問題 7 30～32. 受験サンプル 1 33～34. 受験サンプル 2 35～36. 受験サンプル 3 37～38. 受験サンプル 4 39～40. 受験サンプル 5 41～42. 受験サンプル 6 43～44. 受験サンプル 7 45. 問題演習</p>			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕 (株)サーティファイ 『Excel 表計算処理技能認定試験 3 級問題集 (2019 対応)』 『Excel 表計算処理技能認定試験 2 級問題集 (2019 対応)』</p>		<p>〔成績判定基準〕 検定試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） ビジネス実習 B		授業の方法 講義・実習	担当教員 石田俊一、望月覚、辻航平 他
授業の回数 60	時間数 120	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕</p> <p>社会人としての心構えを持ち、職場でのルール・マナーや立ち居振る舞い、電話応対など必要な社会常識を身につける。また、社会に目を向ける感性や、現代を生きる人間としての生き方について考える力を養うことを目的とする</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>社会人としての心構えをはじめ、個人または集団での仕事の進め方、報告連絡相談の必要性を理解する。また、先輩や上司、利用者など、他者への言葉遣いや立ち振る舞い、接遇力の演習を通して学習する</p> <p>〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>社会人として相応しく、職場のマナー、挨拶と敬語、電話応対、接遇マナーを身につけている。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕</p> <p>前回の授業内容の復習を行っておく。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>コマ数</p> <p>1：マナーの必要性、服装の確認 2～6：社会人としての心構え、職場のマナー、仕事の進め方、報告・連絡・相談 7～13：挨拶、お辞儀、正しい敬語、対応の基本の講義とロールプレイ 14～20：電話対応のマナー、電話の受け方、電話のかけ方の講義とロールプレイ 21～27：状況別の電話対応の講義とロールプレイ 28～34：接遇マナー、接客マナーの講義とロールプレイ 35～41：営業マナー、クレーム対応講義とロールプレイ 42～48：社会人マナー講義 49～59：電話対応のマナー、電話の受け方、電話のかけ方のロールプレイ 60：応効果測定</p>			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕</p> <p>大原出版『ビジネスマナー』 プリント</p>		<p>〔成績判定基準〕</p> <p>確認筆記試験と効果測定の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) ビジネス実習 D		授業の種類 講義・演習	担当教員 石田俊一、辻航平 他
授業の回数 30	時間数 60	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 ビジネスに必要な一般教養知識を養うことと、実務経験のある教員による指導も受けることにより幅広い知識を習得する。 就職後に上司、同僚、お客様、取引先とのコミュニケーションがスムーズにとれるよう一般教養のレベルアップを図る。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 自己表現を行うにあたり何を注意しなければいけないか、何がポイントなのかを学びながら演習や検定試験、発表会を行う。 実務経験のある教員や外部講師から実社会の現状の説明を受け、学生と社会人の違いを理解する。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 自分を売り込むためのしっかりとした自己 PR を構築し、人前でプレゼンテーションができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 日ごろから新聞、テレビ等のニュースを見ておく事。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <p>1～8：自己表現（挨拶の仕方、電話のかけ方、ホスピタリティとは、グループワークについて） 9～11：プレゼンテーションⅠ（与えられたテーマを調べ、まとめ、発表を行う） 12～14：自己分析（自己分析の手法を学び、自己 PR などをもとめる） 15：租税について（外部講師の講義、要レポート提出） 16～18：プレゼンテーションⅡ（与えられたテーマを調べ、まとめ、発表を行う） 19：ボランティアについて 20～22：職業理解（外部講師による仕事の説明、要レポート提出） 23：模擬裁判の体験（裁判所での模擬裁判の体験、要レポート提出） 24～26：プレゼンテーションⅢ（与えられたテーマを調べ、まとめ、発表を行う） 27～30：職業理解（学外見学、要レポート提出）</p>			
〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『就職ガイドブック』『就職ノートブック』 『大原生のための一般教養』 名古屋大原学園『トライアングル手帳』		〔成績判定基準〕 レポート評価表に基づき優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 教養演習 B		授業の種類 講義・実習	担当教員 大石健二、加藤喜代子、 夏目祐補
授業の回数 45	時間数 90	開講年次 1年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 就職内定先の職種に応じた、即戦力になりうるための業務知識、実務能力を身に付ける。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 公安系、事務系、情報系のいずれかを選択し、必要な業務知識の講義と問題演習を通して、実務能力を身につける。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 入社時に即戦力となりうる、業務知識、実務能力を身につける。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 次の授業項目についてテキストを読んでおくこと。また、授業後に指定した問題を解くこと。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕</p> <p>【公安系】危険物 コマ数 1～10. 物理の基礎的な知識 11～18. 化学の基礎的な知識 19～24. 燃焼、消火に関する基礎的な知識 25～28. 危険物の分類・性質・事故例 29～30. 危険物と指定量、製造所等の区分と位置・構造・設備の基準 31～32. 保安制度・危険物取扱者と保安講習、危険物の管理等 33～45. 問題演習</p> <p>【事務職系】簿記・会計 コマ数 1～9. 簿記の目的、財政状態、経営成績、損益計算書と貸借対照表の関係 10～12. 仕入諸掛及び販売諸掛、手付金・商品券の記帳方法、商品有高帳 13～15. 現金及び預金、手形、有価証券、有形固定資産、その他の債権債務の記帳方法 16～18. 試算表の作成 19～22. 決算整理Ⅰ・・・受取手形・売掛金・有形固定資産の決算整理 23～24. 決算整理Ⅱ・・・費用・収益、消耗品、現金過不足、引出金の決算整理 25～45. 演習プリントによる総復習</p> <p>【情報系】情報活用検定 コマ数 1～10. パソコンの基礎 11～19. ネットワーク 20～21. アプリケーションソフトの利用 22～25. 情報社会とコンピュータ 26～27. 情報モラル 28～45. 問題演習</p>			
〔使用テキスト・参考文献〕 『乙種4類危険物取扱者テキスト』 『3級商業簿記テキスト』 『情報活用試験3級公式テキスト』		〔成績判定基準〕 評価試験の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。	

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 教養演習 A		授業の種類 講義・演習	担当教員 石田俊一、辻航平 他
授業の回数 1 5	時間数 3 0	開講年次 1 年	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的〕 ビジネスに必要な一般教養知識を養うことと、実務経験のある教員による指導も受けることにより幅広い知識を習得する。 就職後に上司、同僚、お客様、取引先とのコミュニケーションがスムーズにとれるよう一般教養のレベルアップを図る。</p> <p>〔授業全体の進め方〕 自己表現を行うにあたり何を注意しなければいけないか、何がポイントなのかを学びながら演習や検定試験、発表会を行う。 実務経験のある教員や外部講師から実社会の現状の説明を受け、学生と社会人の違いを理解する。</p> <p>〔授業終了時の達成課題 (到達目標)〕 自分を売り込むためのしっかりと自己 PR を構築し、人前でプレゼンテーションができる。</p> <p>〔準備学習の具体的な内容〕 日ごろから新聞、テレビ等のニュースを見ておく事。</p>			
<p>〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 コマ数</p> <p>1～2：自己表現（挨拶の仕方、電話のかけ方、グループワークについて） 3～14：4つの職場検定（自己管理能力、協調行動力、IT 活用力、海外行動力） 15：4つの職場検定（海外行動力）</p>			
<p>〔使用テキスト・参考文献〕 大原出版『就職ガイドブック』『就職ノートブック』 『大原生のための一般教養』 名古屋大原学園『トライアングル手帳』</p>		<p>〔成績判定基準〕 職場検定試験の結果に基づき優・良・可・不可の成績評価を行う。</p>	